

IV. 研究成果の発信・普及

1. 出版物・報告書の製作

(1) 和文・英文機関誌編集委員会

①和文機関誌「アジア経済」

第 61 巻第 2 号から第 62 巻第 1 号までの 4 点を刊行した。

2021 年度編集委員会の委員は、次のとおり。

委員長：安倍 誠（新領域研究センター長）

委員（所外）：粕谷祐子（慶應義塾大学教授）、金 成垣（東京大学准教授）、田原史起（東京大学教授）

委員（所内）：青木まき（地域研究センター）、岩崎葉子（地域研究センター）、岡 奈津子（新領域研究センター）、小林昌之（新領域研究センター兼学術情報センター）、橋口善浩（開発研究センター）、湊 一樹（地域研究センター）、山田七絵（新領域研究センター）

②英文機関誌「The Developing Economies」

Vol.59 No.2 から Vol.60 No.1 までの 4 点を刊行した。

2021 年度編集委員会の委員は、次のとおり。

委員長：黒崎 卓（一橋大学教授）

委員（所外）：木島陽子（政策研究大学院大学教授）、久保慶一（早稲田大学教授）、塩路悦朗（一橋大学教授）、神事直人（京都大学教授）、町北朋洋（京都大学准教授）、矢野 剛（京都大学教授）

委員（所内）：梅崎 創（開発研究センター）、工藤友哉（開発研究センター）、桑森 啓（開発研究センター兼学術情報センター）、田中清泰（開発研究センター）、塚田和也（開発研究センター）、間 寧（地域研究センター）、早川和伸（ジェットロ・バンコク事務所）、福西隆弘（開発研究センター）、石垣磨美（学術情報センター）

(2) 2021 年度出版物・報告書一覧

①定期刊行物

『アジア経済』和文機関誌（季刊 B5 判） 第 62 巻第 2 号～第 4 号、第 63 巻第 1 号
<i>The Developing Economies</i> 英文機関誌（季刊 B5 変型判）Wiley 刊行 Vol.59 No.2～No.4, Vol.60 No.1
『アフリカレポート』No. 59
『ラテンアメリカ・レポート』Vol. 38 No.1, No.2

IV. 研究成果の発信普及

『アジア動向年報 2021』
『アジア動向年報 2010～2019 バンドル版』

②単行書（電子書籍）

アジア国際産業連関表——延長推計と国際生産ネットワーク分析への応用——	桑森啓 編
ラオス人民革命党第11回大会——転換期を迎える国家建設——	山田紀彦 編
ベトナム「繁栄と幸福」への模索——第13回党大会にみる発展の方向性と課題——	藤田麻衣 編

③IDE Discussion Paper Series

No. 819	Trade in Factor Income and the US-China Trade Balance	Bo Meng, Yuning Gao, Jiabai Ye, Meichen Zhang, and Yuqing Xing
No. 820	MNEs and Exogenous Pandemic Shocks through COVID-19: From Context to GVC Agility	Gabriele Suder, Bo Meng, and Yuning Gao
No. 821	Magnification Effect in International Production Networks: Evidence from Asia	Kazunobu Hayakawa and Hiroshi Mukunoki
No. 822	How Effective Was the Restaurant Restraining Order against COVID-19? A Nighttime Light Study in Japan	Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola, and Shujiro Urata
No. 823	Beyond Pollution for Promotion: Connections of Political Elites and Industrial Air Pollution in China	Meng Li, Bo Meng, and Yuning Gao
No. 824	Impact of COVID-19 on Trade in Services	Mitsuyo Ando and Kazunobu Hayakawa
No. 825	Who Dominates Global Value Chains? Multinationals vs Domestic Firms	Yuning Gao, Bo Meng, Gabriele Suder, and Jiabai Ye
No. 826	Labor Market Information and Parental Attitudes toward Women Working Outside the Home: Experimental Evidence from Rural Pakistan	Momoe Makino

IV. 研究成果の発信普及

No. 827	Does Vaccination Mitigate the Negative Impacts of Coronavirus on Trade?	Kazunobu Hayakawa
No. 828	A Risk Analysis on Geographical Concentration of Global Supply Chains	Satoshi Inomata and Tesshu Hanaka
No. 829	The European Union's Withdrawal of Trade Preferences for Cambodia	Kiyoyasu Tanaka
No. 830	Regionalism, Membership and Leadership: Insights from Asia and Beyond	Shintaro Hamanaka
No. 831	Impacts of COVID-19 on Foreign Direct Investment	Kazunobu Hayakawa, Hyun-Hoon Lee, and Cyn-Young Park
No. 832	The European Union's Safeguard for Rice Imports from Cambodia and Myanmar	Kiyoyasu Tanaka
No. 833	Estimation of China's Investment in ICT Assets and Accumulated ICT Capital Stock	David Tao Liang, Harry X. Wu, and Kyoji Fukao
No. 834	Competition and Technology Position: The Case of China's Industrial Robotics Industry	Koichiro Kimura, Hiroshi Matsui, Kazuyuki Motohashi, Shun Kaida, and Janthorn Sinthupundaja
No. 835	The World of Overlapping Regions	Shintaro Hamanaka
No. 836	Regionalism and Exclusionary Leadership: The Case of International Sporting Events and Trade Cooperation	Shintaro Hamanaka
No. 837	Is Land Right Confirmation the First Step toward Privatization?	Zhe Ren
No. 838	From Buyer-Driven Fragmented to Consumer-Driven Vertically Integrated Value Chains: A Case Study of Japanese Apparel and Accessory SMEs	Fusanori Iwasaki and Yasushi Ueki
No. 839	Impact of Legislation for Infectious Disease Control: Evidence from HIV Testing in Mali	Yuya Kudo

IV. 研究成果の発信普及

No. 840	Governance of Fertilizer Quality in Vietnam: Government and Market Initiatives	Emi Kojin, Do Van Hoang, Nguyen Thiet, Yutaka Arimoto, Vo Hong Tu, Yukichi Mano, Nguyen Duy Can, and Kazunari Tsukada
No. 841	Islam and State Relations in Egypt: Containment and Appropriation as a Source of Political Authority	Housam Darwisheh
No. 845	Political Settlements Research on Sub-Saharan Africa: A Conceptual Framework and Causal Mechanism	Machiko Tsubura
No. 846	Using Truck Probe Data to Measure Border Clearance Time: Evidence from Thailand	Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola, and Shujiro Urata
No. 847	Estimating the Impacts of International Bridges on Foreign Firm Locations: A Machine Learning Approach	Kazunobu Hayakawa, Souknilanh Keola, Korrakoun Silaphet, and Kenta Yamanouchi
No. 848	How Does Additive Manufacturing Change Trade? Evidence from Trade in Sound Recordings	Kazunobu Hayakawa and Hiroshi Mukunoki
No. 849	Productivity and Human Capital Agglomeration: Evidence from Indonesian Cities	Yoshihiro Hashiguchi and Takayuki Higashikata
No. 850	Measuring the Influence of Executive Heads in International Organizations—Illustrative Analysis on the Effects of Democratic Density—	Tomoko Takahashi, Sanae Suzuki and Taku Yukawa

④外部出版

刊行年月	種別	タイトル	著者および編者	備考
2021年10月	和文外	コロナ禍の途上国と世界の変容—	佐藤仁志編著	日経BP

IV. 研究成果の発信普及

	部出版	軋む国際秩序、分断、格差、貧困を考えるー		
2021年12月	和文外部出版	モルディブを知るための35章	荒井悦代、今泉慎也編著	明石書店
2021年6月	英文外部出版	<i>Global Production Networks and Rural Development: Southeast Asia as a Fruit Supplier to China</i>	Bill Pritchard, ed.	Edward Elgar
2021年9月	英文外部出版	<i>International Trade of Secondhand Goods: Flow of Secondhand Goods, Actors and Environmental Impact</i>	Michikazu Kojima and Shozo Sakata, ed.	Palgrave Macmillan
2021年9月	英文外部出版	<i>Northeast India and Japan: Engagement through Connectivity</i>	Mayumi Murayama, Sanjoy Hazarika, and Preeti Gill, ed.	Routledge
2022年3月	英文外部出版	<i>The Growth of the Fruit and Vegetables Export Industry in Peru</i>	Tatsuya Shimizu	Springer

2. 国際シンポジウム

シンポジウム名	開催日時	場所	講師	参加者数
世界銀行・朝日新聞共催国際シンポジウム サステナビリティと企業の社会的責任：SDGsを現実にするポスト（ウィズ）コロナの10年に向けて	2022/1/27(木) 9:30～12:00	オンライン	山田美和（新領域研究センター法・制度研究グループ長）、ハイシャン・フー（世界銀行 開発データ局長）、アニタ・ラマサストリ（ビジネスと人権に関する国連ワーキンググループメンバー、ワシントン大学ロースクール教授）、池田賢志（金融庁 チーフ・サステイナブルファイナンス・オフィサー）、長谷川知子（日本経済団体連合会 常務理事）、 銭谷美幸（第一生命保険 運用企画部フェロー エグゼクティブ・サス	1,211

IV. 研究成果の発信普及

			テナブルファイナンス・スペシャリスト)、カルロス・ペレズ-ブリト (世界銀行 上級社会開発専門官)	
--	--	--	--	--

3. 講演会・セミナー等の活動

(1) 連続専門講座

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
SDGs時代の経済・社会開発 (全8回)	2021年 ①10/16 ②11/6 ③11/27 ④12/18 2022年 ⑤1/8 ⑥1/29 ⑦2/19 ⑧3/12 各回とも 10:30～ 16:30	オンライン	佐藤寛(新領域研究センター上席主任調査研究員)、井上直美(ジェトロ・アジア経済研究所連携研究員)、大塚健司(新領域研究センター環境・資源研究グループ長)、小島道一(新領域研究センター上席主任調査研究員)、道田悦代(新領域研究センター環境・資源研究グループ長代理)、山形辰史(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 教授)、忍足謙朗(元・国連世界食糧計画(WFP)アジア地域局長/難民を助ける会常任理事)、戸堂康之(早稲田大学政治経済学術院 経済学研究科 教授)、石戸光(千葉大学教授)、黒田一雄(早稲田大学教授)、清水栄一(国立国際医療研究センター上級研究員)、山田雪乃(大和証券担当部長/チーフ ESG ストラテジスト)	50

(2) オンライン講座

講座名	開催日	講師	参加者数
遊牧民と農民から見たソ連中央アジア	2021/4/20(火) 14:00～15:10	植田暁(新領域研究センターグローバル研究グループ)	204
(賛助会限定) 第8回共産党大会を迎えたキューバ: 米国新政権との関係、新型コロナ対応、徐々に進む経済改革	2021/4/22(木) 13:30～15:00	山岡加奈子(新領域研究センターグローバル研究グループ長代理・主任研究員)、山田泰子(NPO 法人職員)	25

IV. 研究成果の発信普及

第 11 回アジ研中国塾	2021/5/10(月) 15:00～17:00	森永正裕（研究企画課長）、 田中修（新領域研究センター 上席主任調査研究員）、日本 大学商学部高久保豊ゼミ生、 横井裕（前・在中国日本国特命 全権大使）	725
転換期のシンガポール～『リ ー・クアンユー・モデル』から 『未来の都市国家』へ	2021/5/13/(木) 14:00～15:30	久末亮一（開発研究センター企 業・産業研究グループ）	429
次世代食料供給の担い手ーラテ ンアメリカの農業経営体ー	2021/5/18/(火) 10:00～10:45	清水達也（地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ 長）	213
『アジア動向年報 2021』刊行 記念セミナーー東南アジアの政 治動向と見通し①ASEAN	2021/6/8/(火) 14:00～15:40	山田紀彦（地域研究センター 動向分析研究グループ長）、 青木まき（地域研究センター 東南アジア I 研究グループ長 代理）、長田紀之（地域研究 センター動向分析研究グルー プ）、谷口友季子（地域研究 センター東南アジア I 研究グ ループ）	673
<賄賂>のある暮らし：中央ア ジアにおける腐敗とその構造	2021/6/10/(木) 13:30～14:30	岡奈津子（新領域研究センター ガバナンス研究グループ長）	538
コロナ対策が秩序を欠いたブラ ジルの最近の動向	2021/6/17/(木) 10:00～11:00	近田亮平（地域研究センターラ テンアメリカ研究グループ長 代理）	195
『アジア動向年報 2021』刊行 記念セミナーー東南アジアの政 治動向と見通し②東アジア	2021/6/23(水) 14:00～15:40	山田紀彦（地域研究センター動 向分析研究グループ長）、内藤 寛子（地域研究センター東アジ ア研究グループ）、倉田徹（立 教大学教授）、奥田聡（亜細亜 大学教授）	454
『脱退問題』に揺れる太平洋の 地域主義：メラネシア、ミクロ	2021/6/29(火) 15:00～17:00	今泉慎也（新領域研究センター グローバル研究グループ長）、	228

IV. 研究成果の発信普及

ネシア、ポリネシアの視点と今後の展望		知花いづみ(新領域研究センター法・制度研究グループ)、黒崎岳大(東海大学講師)、北原卓也(早稲田大学招聘研究員)、畝川憲之(近畿大学教授)	
コロナ禍におけるアフリカの人々：6カ国からの報告	2021/7/5(月) 17:00～19:10	佐藤千鶴子(地域研究センターアフリカ研究グループ主任研究員)、網中昭世(地域研究センターアフリカ研究グループ)、福西隆弘(開発研究センター主任調査研究員)、玉井隆(東洋学園大学、日本アフリカ協議会)、佐々木和之(プロテスタント人文・社会科学大学 Protestant Institute of Arts and Social Sciences, Rwanda)、Otchia Christian Samen(名古屋大学大学院国際開発研究科)	217
第13回大統領選後のイランと中東域内・域外関係の展開	2021/7/15(木) 10:00～11:15	鈴木均(新領域研究センターグローバル研究グループ上席主任研究員)	311
コロナ禍における台湾の国際物流	2021/7/29(木) 14:00～15:10	池上寛(開発研究センター経済統合研究グループ長代理)	237
選挙結果からみる中南米諸国の動向：『ラテンアメリカ・レポート』Vol.38, No.1の発行にあわせて	2021/8/5(木) 13:30～14:30	近田亮平(地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長代理)、清水達也(地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)、岡田勇(名古屋大学准教授)、舩方周一郎(東京外国語大学講師)、磯田沙織(神田外語大学専任講師)	208
第12回アジ研中国塾	2021/8/19(木) 15:00～17:00	田中修(新領域研究センター上席主任調査研究員)、任哲(新領域研究センターガバナ	506

IV. 研究成果の発信普及

		ンス研究グループ)、小山雅久(一般財団法人日中関係学会理事)	
地方講演会(佐賀)「SDGsと地域活性化と海外展開につながりはあるのか?」	2021/9/16(木) 15:00~16:30	佐藤寛(研究推進部上席主任調査研究員)	31
「コンビニからアジアを覗く」	2021/10/6(水) 13:30~15:00	佐藤寛(研究推進部上席主任調査研究員)、中村まり(地域研究センター南アジア研究グループ)、佐藤幸人(新領域研究センター上席主任調査研究員)、遠藤元(大東文化大学国際関係学部准教授)、大久保文博(長崎県立大学経営学部国際経営学科講師)、吉田秀美(法政大学人間環境学部専任講師)、梅澤聡(「月刊コンビニ」編集委員)	742
地方講演会(茨城)「中小企業海外展開支援セミナー/SDGsとは?」	2021/10/8(金) 14:00~15:40	佐藤寛(研究推進部上席主任調査研究員)、株式会社常陽銀行、安達結衣(ジェトロ茨城)、公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構、照沼勝浩(農業法人株式会社照沼取締役名誉会長)	70
コロナ禍から1年の中国労働市場~農民工と大学卒業生の明暗が分かれる理由	2021/10/14(木) 14:00~15:40	箱崎大(新領域研究センター主任調査研究員)	190
(賛助会限定) 社会関係資本とコロナウイルス感染予防行動:トルコ世論データの分析	2021/10/19(火) 14:00~15:00	間寧(地域研究センター主任調査研究員)	16
グローバル化時代における環境・食品安全施策の波及:メカニズムと課題	2021/10/26(火) 10:00~12:00	道田悦代(新領域研究センター環境・資源研究グループ・グループ長代理)、箭内彰子(新領域研究センター主任調査研究員)、鄭方婷(新領域	415

IV. 研究成果の発信普及

		研究センター法・制度研究グループ)、小島道一(新領域研究センター上席主任調査研究員)、伊勢田元(株式会社竹中工務店設計本部アドバンストデザイン部副部長)	
地域研究コンソーシアム 2021/度年次集会・一般公開シンポジウム「地域研究とグローバル・アジェンダ～『濃い研究』のもたらす視座～」	2021/10/30(土) 10:10～15:30	武内進一(新領域研究センター上席主任調査研究員)、小島道一(新領域研究センター上席主任調査研究員)、大塚健司(新領域研究センター環境・資源研究グループ長)、佐藤幸人(新領域研究センター上席主任調査研究員)、大石侑香(神戸大学大学院国際文化科学研究科国際文化学部講師)、宮崎千穂(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員)、柳澤雅之(京都大学東南アジア地域研究研究所准教授)、	110
米中経済対立下の台湾経済・企業動向と半導体産業	2021/11/9(火) 14:00～15:35	佐藤幸人(新領域研究センター上席主任調査研究員)、伊藤信悟(株式会社国際経済研究所主席研究員)	58
地域研究へのアプローチ：紛争について学び、紛争をとおして考える	2021/11/16(火) 14:00～15:30	佐藤章(地域研究センター主任調査研究員)、橋本栄莉(立教大学文学部准教授)、秋山道宏(沖縄国際大学総合文化学部准教授)	280
アフガニスタンの現在：国内情勢と地域的な影響	2021/11/25(木) 13:30～15:30	鈴木均(新領域研究センターグローバル研究グループ上席主任研究員)、青木健太(中東調査会研究員)、中西久枝(同志社大学大学院教授)	190

IV. 研究成果の発信普及

コロナ禍の途上国と世界の変容	2021/12/7(火) 13:30～16:00	田中清泰(開発研究センター 経済統合研究グループ)、松本 はる香(地域研究センター東ア ジア研究グループ長)、近田亮 平(地域研究センターラテンア メリカ研究グループ研究グル ープ長代理)、山田美和(新領 域研究センター法・制度研究グ ループ長)、浜中慎太郎(開発 研究センター経済統合研究グ ループ)	304
(賛助会限定) コロナ禍のア フリカ:近年のアフリカ政治動 向を探る	2021/12/8(水) 13:30～14:30	武内進一(新領域研究センター 上席主任調査研究員)	32
第13回アジア研中国塾	2021/12/16(木) 15:00～17:00	箱崎大(新領域研究センター 主任調査研究員)、田中修 (新領域研究センター 上席主 任調査研究員)、大塚健司 (新領域研究センター環境・ 資源研究グループ長)、大橋 英夫(専修大学経済学部 教 授)	431
人類の半分がアフリカ人にな る?	2022/1/13(木) 10:00～11:00	平野克己(新領域研究センター 上席主任調査研究員)	744
国家の力が試されるラテンアメ リカ:『ラテンアメリカ・レポー ト』Vol.38, No.2の発行にあわせ て	2022/2/3(木) 10:00～11:15	清水達也(地域研究センター ラテンアメリカ研究グルー プ長)、上谷直克(地域研究セン ターラテンアメリカ研究グル ープ)、坂口安紀(地域研究 センター主任調査研究員)、村 井友子(学術情報センター長)、 木下直俊(国際金融情報セン ター)、笛田千容(駒澤大学 総 合教育研究部 講師)	207

IV. 研究成果の発信普及

<p>試される日本の SDGs～コロナ下の在日外国人への情報提供と医療アクセス～</p>	<p>2022/2/10(木) 14:30～16:45</p>	<p>佐藤寛（研究推進部上席主任調査研究員）、藤田雅美（国立国際医療研究センター国際医療協力局運営企画部保健医療協力課長）、新居みどり（NPO 法人国際活動市民中心（CINGA）理事/コーディネーター）、田中雅子（上智大学 総合グローバル学部教授）、崔洙連（特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク）、加藤丈太郎（早稲田大学 国際学術院 アジア太平洋研究センター 助教）、人見泰弘（武蔵大学社会学部社会学科 准教授）</p>	<p>218</p>
<p>九州経済調査協会セミナー「国際金融とスタートアップ～シンガポール～」</p>	<p>2022/2/17(木) 10:30～12:00</p>	<p>久末亮一（開発研究センター 企業・産業研究グループ）、岸原稔泰（一般社団法人 StartupGoGo 代表パートナー）</p>	<p>262</p>
<p>ラオス人民革命党第 11 回大会と今後の国家建設</p>	<p>2022/2/24(木) 14:00～15:30</p>	<p>山田紀彦（動向分析研究グループ）、ケオラ・スックニラン（経済地理研究グループ）、南波聖太郎（東南アジア II 研究グループ）</p>	<p>203</p>
<p>【ジェトロウェビナー】台湾ビジネスセミナー —コロナ後の台湾でのビジネスチャンスを探る</p>	<p>2022/3/4(金) 14:00～15:45</p>	<p>佐藤幸人（新領域研究センター 上席主任調査研究員）、柏瀬 あすか（海外調査部）</p>	<p>704</p>
<p>ブラジル最新動向セミナー—社会的弱者に関する研究成果をもとに</p>	<p>2022/3/10(木) 10:00～11:15</p>	<p>近田亮平（地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ 長代理）、菊池啓一（地域研究センター ラテンアメリカ研究グループ）</p>	<p>149</p>

IV. 研究成果の発信普及

“在宅”という働き方がもたらす経済的影響：日欧の最新研究から考える	2022/3/17(木) 15:00～16:15	ジャック・F. ティス（新領域研究センター上席主任調査研究員）、後閑利隆（開発研究センター経済地理研究グループ）、森川正之（経済産業研究所所長）	568
-----------------------------------	-----------------------------	--	-----

(3) 夏期公開講座 <オンライン>

講座名	開催日	テーマ及び講師	参加者数
コース1「在日外国人労働者が直面している課題と今後の展望」	2021/8/12(木) 13:00～16:20	佐藤寛（研究推進部上席主任調査研究員）、藤田雅美（国立国際医療研究センター）、新居みどり（国際活動市民中心（CINGA））	80
コース2「途上国の権威主義の諸相」	2021/8/24(火) 13:30～16:00	上谷直克（地域研究センターラテンアメリカ研究グループ）、長田紀之（地域研究センター動向分析研究グループ）、今井宏平（地域研究センター中東研究グループ）、坂口安紀（地域研究センター主任調査研究員）	69
コース3「アジアにおける障害者の法的能力と成年後見制度」	2021/9/1(水) 13:30～16:00	小林昌之（新領域研究センター主任調査研究員）森壮也（新領域研究センター主任調査研究員）崔栄繁（DPI 日本会議）	16
コース4「インドネシアを知るための4章——新型コロナウイルス禍のなかで直面する課題」	2021/9/9(木) 13:30～16:00	川村晃一（地域研究センター東南アジア1研究グループ長）、東方孝之（在シンガポール海外調査員）、佐藤百合（地域研究センター上席主任研究員）、道田悦代（新領域研究センター環境・資源研究グループ長代理）	78

IV. 研究成果の発信普及

コース5「ビジネスと人権：人権デューデリジエンスの本質とは？」	2021/9/14(火) 13:30～16:00	山田美和（新領域研究センター法・制度研究グループ長）、松岡秀紀（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪））、田中竜介（ILO 駐日事務所プログラムオフィサー）、木下由香子（在欧州日系ビジネス協議会 CSR 委員長）	111
コース6「台湾の今と半世紀の道程——半導体・物流・中台関係——」	2021/9/16(木) 13:30～16:00	佐藤幸人（新領域研究センター上席主任調査研究員）、池上寛（開発研究センター経済統合研究グループ長代理）、川上桃子（地域研究センター長）、小笠原欣幸（東京外国語大学大学院総合国際学研究院 教授）	95
コース7「政権交代したラテンアメリカ諸国のLGBT」	2021/9/29(水) 13:30～16:00	近田亮平（地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長代理）、畑恵子（早稲田大学名誉教授）、尾尻希和（東京女子大学教授）、渡部奈々（獨協大学非常勤講師）	25
コース8「金正恩体制の選択」	2021/10/8(金) 13:30～16:00	中川雅彦（地域研究センター主任調査研究員）、文浩一（アジア経済研究所連携研究員）、朴在勲（環日本海経済研究所共同研究員）、宮本悟（聖学院大学教授）	59

(4) 海外講演会

<主催：アジ研、ジェトロ・バンコク 共催：Taiwan Trade Center Bangkok>

名称	開催日	講師	参加者数
海外市場開拓における日台協力の重要性	2021/5/19（水） 14:00～15:25	佐藤幸人（新領域研究センター上席主任調査研究員） ※事前録画を当日放映 Yu-Liang Chang (Director, TAITRA Bangkok)	164

IV. 研究成果の発信普及

		Henry Chan (Managing Director, Srang Sern Co.,Ltd.), Kazuhiko Suzuki (Managing Director, Thai Sanko Co.,Ltd.)	
--	--	---	--

(5) アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞受賞記念講演会

テーマ（受賞作品）	開催日	場所	講師	参加者数
『経済発展における共同体・国家・市場——アジア農村の近代化にみる役割の変化』	2021/7/1(木) 14:00～15:45	オンライン	加治佐敬（青山学院大学国際政治経済学部教授）	52
『試される正義の秤——南アジアの開発と司法』			佐藤創（南山大学総合政策学部教授）	

(6) テレビラジオ出演

出演メディア	出演日	タイトル	解説者
テレビ朝日「大下容子ワイド！スクランブル」	2021/4/2	死者数世界2位・2月以降急増・日本企業も進出・ブラジルの現実	近田亮平（地域研究センター）
NHK BS1「キャッチ！世界のトップニュース」	2021/4/12	テロ事件から2年・スリランカで強まるイスラム教徒への締めつけ	荒井悦代（地域研究センター）
TBS ラジオ「アシタノカレッジ」	2021/5/10	キューバ革命の立役者が引退「キューバの今、そして今後。」	山岡加奈子（新領域研究センター）
NHK ラジオ「三宅民夫のマイあさ！」	2021/5/14	隣国タイからみるミャンマー情勢	青木まき（地域研究センター）
TBS「サンデーモーニング」	2021/5/30	アウンサンスー・チー法廷に・国軍トップが考える“今後”	長田紀之（地域研究センター）
テレビ朝日「大下容子ワイド！スクランブル」	2021/7/13	ハイチ・大統領暗殺の実行犯に元兵士「夜が怖い」国民に不安広がる	山岡加奈子（新領域研究センター）

IV. 研究成果の発信普及

TBS ラジオ「荻上チキ・Session」	2021/7/15	南アフリカで続く暴動。死者は72人	牧野久美子 (地域研究センター)
テレビ朝日「大下容子ワイド!スクランブル」	2021/7/20	混乱・キューバで異例の反政府デモ 「食べ物がない」国民が悲鳴	山岡加奈子 (新領域研究センター)
NHK ラジオ「三宅民夫のマイあさ!」	2021/7/23	新型コロナ感染拡大に揺れる東南アジア	青木まき (地域研究センター)
NHK BS1「キャッチ!世界のトップニュース」	2021/9/6	震災で浮かびあがるハイチの実像	山岡加奈子 (新領域研究センター)
ラジオ NIKKEI	2021/9/27	21世紀の台湾と日本 ——2021 日本台湾友情年——	川上桃子 (地域研究センター)
テレビ朝日「大下容子ワイド!スクランブル」	2021/10/21	ハイチで誘拐事件急増。アメリカ人宣教師ら17人誘拐され国民から怒りの声	山岡加奈子 (新領域研究センター)
テレビ朝日「大下容子ワイド!スクランブル」	2021/11/5	深刻・エチオピア内戦のきっかけは?・和平困難の背景に大国の影響も	児玉由佳 (新領域研究センター)
テレビ朝日「大下容子ワイド!スクランブル」	2021/11/15	フィリピン・ドゥテルテ大統領の長女・副大統領選に立候補	川中豪 (地域研究センター)
NHK ラジオ「三宅民夫のマイあさ!」	2021/11/26	東南アジアの気候変動対策	青木まき (地域研究センター)
NHK「NHKニュース7」	2021/12/3	「“抜け出せないほどの中国依存” ラオスに「一帯一路」鉄道開通・事業費の大部分は中国が…」	山田紀彦 (地域研究センター)
NHK「ニュースウオッチ9」	2021/12/3	「ラオスに鉄道開通・事業費の大部分は中国が…」	山田紀彦 (地域研究センター)
NHK「国際報道2021」	2021/12/3	「ラオス・中国高速鉄道開通 強まる中国の影響力」	山田紀彦 (地域研究センター)

IV. 研究成果の発信普及

TBS「サンデーモーニング」	2022/1/9	<引き裂かれる世界>これが共産主義？中国・格差の現実	田中修（新領域研究センター）
J-WAVE「TOKYO MORNING RADIO」	2022/1/11	<GLOBAL SCALE>スリランカから見えてくる途上国と借金の関係	荒井悦代（地域研究センター）
テレビ朝日「大下容子ワイド！スクランブル」	2022/1/11	<ピックアップNEWS>フィリピン・大統領選が予想外の展開・マルコス元大統領の長男・支持率独走	川中豪（地域研究センター）
NHK ラジオ「三宅民夫のマイあさ！」	2022/1/28	ミャンマー情勢と ASEAN	青木まき（地域研究センター）
NHK World	2022/2/14	ラオス・中国高速鉄道開通 強まる中国の影響力	山田紀彦（地域研究センター）
文化放送「斉藤一美ニュースワイド SAKIDORI！」	2022/3/10	ロシア、ウクライナ、トルコの外相が三者会談へ	今井宏平（地域研究センター）
NHK「キャッチ！世界のトップニュース」	2022/3/28	ウクライナ軍事侵攻～トルコ仲介の背景	今井宏平（地域研究センター）

4. 第42回アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学及びその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、1980年度にアジア経済研究所が創設したものである。

2021年度は、①2019年10月～2020年9月の1年間に国内で刊行された日本語又は英語による図書、雑誌論文、調査報告、文献目録、または②同期間に海外で公刊された日本人による英文図書を対象として、大学や出版社等から推薦された37点の中から研究推進部での審査、所内研究者の査読、外部有識者を含む選考委員から構成される審査委員会における最終審査を経て、以下の2点を受賞作品として選定した。7月1日（木）にアジア経済研究所において表彰式と著者による記念オンライン講演会を実施した。

【委員長】 田中明彦（政策研究大学院大学学長）

【委員】 上田元氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

大塚啓二郎（ジェトロ・アジア経済研究所 上席主任調査研究員）

IV. 研究成果の発信普及

栗田 禎子 氏（千葉大学大学院人文科学研究院 教授）

深尾 京司（ジェットロ・アジア経済研究所 所長）

藤田 幸一 氏（京都大学東南アジア地域研究研究所 教授）

受賞作品：

- ・『経済発展における共同体・国家・市場——アジア農村の近代化にみる役割の変化』（日本評論社）

著者：加治佐 敬（青山学院大学国際政治経済学部教授）

- ・『試される正義の秤——南アジアの開発と司法』（名古屋大学出版会）

著者 佐藤 創（南山大学総合政策学部教授）

受賞作以外で最終選考の対象となった作品は以下の1点：

- ・『タイ民主化と憲法改革——立憲主義は民主主義を救ったか』（京都大学学術出版会）

著者：外山 文子 筑波大学大学院人文社会科学研究所准教授

5. 賛助会制度

賛助会制度は、アジア経済研究所の事業活動に賛同をいただいた会員より賛助会費の資金援助を得て、研究成果を広く普及するために設けられた制度である。

賛助会は、企業、団体、大学、研究機関等のための正会員（年会費 140,000 円）と研究所事業に関心のある個人を対象とする個人利用会員（年会費 10,000 円）からなる。2021 年度末の会員口数は、正会員 140、個人利用会員 108 である。

正会員には、オンライン閲覧による最新データベースの提供、アジア経済研究所の各種出版物の送付等を行い、個人利用会員には出版物 1 種類の送付等を行っている。

6. アジア経済研究所ウェブサイト

2021 年度は、政府・企業などの関心が高まっているテーマに関して特集ページを作成し、研究成果をワンストップでアクセスできるようにした。IDE スクエアでは月平均 5~6 本の記事を公開し、月間のページビュー 10 万超えを複数回達成した。講演会や時事解説の動画、新刊や受賞図書の編著者インタビュー記事、英文コラム「IDE Research Column」、ライブラリアン・コラムなど、研究所の研究成果や活動内容について多様な形で発信を行った。英語の Twitter 代表アカウントも開設し、英文による情報発信も始めた。さらに、研究所機関リポジトリ ARRIDE で『アジア経済』の論文・記事を遡及的に電子化公開した。そのほか、賛助会ページ、採用ページ、および研究者紹介ページの改訂に向けた作業を行った。2021 年度の研究成果のアクセス件数・ダウンロード数の合計は約 637 万件

IV. 研究成果の発信普及

で、昨年度を下回ったが、研究成果を蓄積する DB に関してはいずれも昨年度を上回るアクセス数・ダウンロード数を得た。